

土砂災害警戒区域・特別警戒区域とは

- ●土砂災害危険箇所を対象に土砂災害防止法に基づく詳細な調査を行い、 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定(予定を含む)した箇 所を掲載しています。
- ●土砂災害警戒区域内では、警戒避難体制の整備等が図られます。また、宅地建物取引においては区域内である旨について重要事項説明を行うことが義務付けられています。

土砂災害特別警戒区域内ではさらに特定の開発行為に対する許可制、 建築物の構造規制、建築物の移転勧告等が図られます。

●現在、順次指定を進めていますので、最新の指定状況については市、県の 出先機関である球磨地域振興局、あるいは熊本県土木部砂防課にお問い 合わせください。

《この地図中では土砂災害のハザード情報を下記の形であらわしております。》

特別警戒区域・土石流・・・・・・・・・	
警戒区域・土石流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
特別警戒区域・急傾斜地の崩壊・・・・・・	
警戒区域・急傾斜地の崩壊・・・・・・・	
警戒区域・地すべり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

球磨川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)とは

- ●球磨川の洪水予報区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- ●洪水浸水想定区域図は、国が公表した平成29年3月末時点の球磨川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により球磨川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- ●なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- ●指定の前提となる降雨は、球磨川の人吉地点上流域における12時間総雨量が502mmとなっています。

※注)国管理区間以外については、溢水・越水のみを考慮しています。